

3. いつまでも暮らししく地域で暮らす道しるべ③

～認知症の進行に応じた支援・資源一覧 『権利を守る』『家族支援』編～

| 認知症の段階 | 青年期 (20~39歳) | 壮年期 (40~64歳) | 元気高齢者 (65歳~) | 認知症の疑い |
|-------------------|---|-----------------|---|--|
| | 気付いた時 | ⇒ | 気になる症状はあるか | |
| 本人の様子 (困りごと) | 【元気な時からやっておくこと】 <ul style="list-style-type: none">・認知症という病気を正しく理解し、認知症の人への接し方を学ぶ。・年に1回は健診を受け、生活習慣病を含め、自分の病気を予防する。・積極的に地域の活動に参加し、ご近所付き合いを大切する。・すぐ出し健康教室（介護予防教室）に参加する。 | | <ul style="list-style-type: none">・なんとなくおかしいと感じて不安になる。・「頭が変になった」と訴える。・言葉が出にくく「あれ」「それ」が多くなる。・今までしていた料理等が面倒くさくなる。・無頓着でおしゃれをしなくなる。 | <p>このような状態を軽度認知障害（MCI）といい、認知症の予備軍とも言われる段階。</p> <p>この段階で気付き、積極的に予防に取り組めば、発症を食い止めることができる。</p> |
| 本人の生活のポイント | | | <ul style="list-style-type: none">・早目にかかりつけ医に相談する。・食生活の改善や適度な運動など、規則的な生活を心掛ける。・地域行事、ボランティアなど社会参加や趣味を楽しむ。 | |
| 家族対応アドバイス | | | <ul style="list-style-type: none">・本人の話を最後までよく聞く。・明るく、根気よく接する。・自尊心を傷つけないようにする。・「しっかりして」の声掛けは逆効果。 | |
| 権利を守る (P19,20) | | | | <p>さく成年後見支援センター・消費</p> <p>日常生活自立支援</p> <p>任意後見制度（任意後見契約）</p> |
| 家族支援 (P20) | | | | |